

提案概要

(北九州市平尾台自然の郷 指定管理者)

団体名:ハートランド平尾台株式会社

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針
<p>◇理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国定公園・天然記念物指定区域「保存ゾーン」と石灰岩採取鉱山「産業ゾーン」に挟まれた位置に立地し、産業と自然を調和させる「緩衝ゾーン」としての機能を図る ○『今日はここに来て本当に良かった』といつも思ってもらえる公園づくりをめざす <p>◇基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○稀有の景観を活かした市民の憩いの場、広域から多くの利用者呼び込む観光地、ひいては北九州市のシビックプライドとなることをめざす ○平等、公平な利用の機会を確保し、公共の場としての利用効果を高める ○関係法令、条例等を遵守し、安心・安全・快適な利用環境を提供 ○効率的な管理運営による経費節減を図り、安定した質の高いサービスを提供 ○国定公園ではできないソトアソビの場を提供
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<p>◇人的基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の住民や企業、各種団体との緊密なネットワークやコミュニケーションを図れるスタッフが在籍 ○管理運営するにあたり、経験豊富なスタッフが多数在籍 <p>◇財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会社の経営状況としては、借入金がなく、資本準備金が潤沢にある ○管理運営に必要な数多くの備品類を財産として有している
(3) 実績や経験など
<p>◇実績や経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ソラランド平尾台(平尾台自然の郷)」の開園準備以来、約21年間に亘り、北九州市の受託および指定管理者業務をおこなっており、実績は極めて豊富 ○平成12年より、「福岡県 平尾台自然観察センター」の管理・運営をおこない、両施設の運営を連携させている

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
<p>◇目的達成のため、3つの大きな柱を掲げ、施設の管理運営に取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民に愛されるの憩いの場の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが使いやすい公園づくり、子育て世代を応援するための施設のさらなる充実、ソトアソビ施設の拡充、多様な働き方を応援するワーケーション機能の拡大 ②平尾台ブランドを強化する観光拠点の創造 <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション活動の推進、平尾台観光ツアーメニューの充実、市内観光事業者との連携、広域観光事業者との連携 ③多様な主体と連携した地域貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域コミュニティへの参画、地域と一体となった各種イベントの推進など
(2) 利用者の満足度
<p>◇利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者の意見把握、反映 <ul style="list-style-type: none"> アンケートによる利用者満足度 99%以上を維持し、ニーズの把握とサービスの向上を図る アンケートに加え、利用者に対し、口頭による調査を行い要望・意見など細かく拾い把握する ○快適性の向上 <ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場として安心・安全・きれいな公園を提供する ○苦情対策 <ul style="list-style-type: none"> 苦情は利用者の期待の表れであるという認識で、迅速かつ丁寧な対応に努める ○利用者への情報発信 <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージによる情報発信、ホームページ(5カ国語対応)、SNSによる情報発信など

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入
◇指定管理料および収入 ○効果的な経費の執行 ○使用料や自主事業等の収入増加(団体ツアー誘致、園内アクティビティ、利用料金(受益者負担の見直し)など) ○自主事業収入で得た利益を指定管理料に充当し、積極的な整備・修繕等に利用し、市民サービスの向上を図る ○提案額 限度額の182,845千円(残額は全て施設改修に充当)
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
◇収支計画の妥当性及び実現可能性 ○収支計画は、過去の実績に基づき、実現性の高い予算組みを行っている ○業務の効率化や消耗品の見直し等により最大限の経費節減を図る

【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
◇管理運営体制 ○豊富な実績とノウハウを有する者を配置 ○少数精鋭で適材適所の人員を配置し、管理運営にあたる ○平尾台自然観察センターと連携し、管理運営に対するバックアップ体制にあたる
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
◇平等利用 ○個人情報保護法に沿って、定めた個人情報保護規定を遵守 ○公の施設であるため、常に平等かつ公平・公正な取扱いによる安全で快適な管理運営を行う ◇安全対策 ○『安心・安全』を最大のサービスと位置付け、安全対策を徹底する ◇危機管理体制 ○速やかに対処できる体制づくり(天災・急病人の発生など)
(3) 地域貢献・社会貢献
◇地域貢献 ○地域活動や地域交流などの取り組み ○地域団体や市内事業者などと連携した取り組み ○市民の雇用拡大に資する配慮 ◇社会貢献 ○高齢者や障害者等の雇用促進 ○労働環境の向上への取り組み ○SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組み

提案額(千円)

令和7年度	182,845千円
令和8年度	182,845千円
令和9年度	182,845千円
令和10年度	182,845千円
令和11年度	182,845千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度(A4)にまとめてください。